

# 大会参加についての確認事項

## 1 開場時間について

- 1日目：11：20
- 2日目：6：50

## 2 競技場練習時間について

- リレーのみの練習時間を設定しました。（1日目10：30～11：15）
  - ※ 各コーナーでのバトンパス練習のみとなります。
  - ※ 11：15でリレー練習は終了となります。また、この時間での場所取りはできません。
  - ※ 多目的広場の練習については、特に時間の制限はありません。雨天のため多目的広場が使用できない場合、プログラム記載の雨天時ウォーミングアップ場図を参照してください。

## 3 テントの設営・待機場所等について

- 競技場内芝スタンドは、各地区割り当てに従って、チームテント及びプライベートテントを設営してください。尚、1日目終了後は自校の責任において、テントの飛散などのないようにしてください。競技場外のテントについては、全て撤去してください。
- 雨天の場合、管理棟2階観覧席両脇屋根付スペースを待機場所として解放します。100mスタート側を県南地区、ゴール側を県中地区として割り当てます。
- 競技場内は、選手及びADカードを持っている引率者のみ入場可能です。

## 4 選手・生徒の大会参加方法について

- 選手は、なるべく競技時間に合わせて来場し、競技終了後、結果を確認して帰宅してください。ご理解とご協力をお願いします。  
例：①競技時間3時間前到着 ②招集時間に合わせてウォーミングアップ ③招集 ④競技に参加 ⑤結果を確認して帰宅
- 新型コロナウイルス感染防止対策に、ご理解とご協力をお願いします。

## 5 学校受付について

- 受付にてプログラム3部（各校印刷）を提出し、領収書、ADを受け取ってください。
  - ※ ベンチで使用するプログラムも各校でご準備ください。
  - ※ 競技場内では、監督は必ずADをつけてください

## 6 ごみの処理について

- ごみは、毎日、必ず持ち帰ってください。  
(残飯の入ったごみを放置することで、野犬やカラスが集まります。不衛生にもなります。)

## 7 トイレ・更衣室の使用について

- トイレは、運動公園内公衆トイレを利用してください。
- 管理棟1階にあるトイレ・更衣室は、選手・引率者は使用できません。

## 8 駐車場について

- 大会役員及び競技役員、生徒送迎の車両は指定された場所への駐車のご協力をお願いします。駐車場は、別紙指定の駐車場をご利用ください。また、路上への駐車はしないようお願いいたします。
- 総合運動公園内への大型・マイクロバスの駐車はできません。また、選手送迎時の乗降後は速やかに移動してください。（※バスの待機場所は、別紙指定の駐車場をご利用ください。）
- 競技場周辺の道路は主要生活道路であり、通勤時間帯の交通量も多く渋滞する可能性もありますのでご理解ご協力をお願いします。

## 9 その他

- 傷病などで救急車を呼ぶ場合は、緊急の場合を除き必ず、競技場職員を通して呼んでください。
- 車上荒らし、置き引きの被害が毎年報告されています。貴重品の管理については、各自の責任で十分ご注意ください。忘れ物にご注意ください。
- 施設周辺や競技場内は**禁煙**です。ご協力をお願いします。
- 忘れ物、落とし物の問い合わせは、大会役員受付へお尋ねください。

## 10 新型コロナウイルス感染防止対策について

福島陸上競技協会が示している「競技会参加にあたって」（下記参照）を遵守し、感染拡大防止に努めること。

### (1) 競技者

① 競技会 1 週間前から検温し、JAAFの「体調管理チェックシート」へ記入し、顧問（代表者）がまとめて大会受付へ提出すること。提出しない競技者は出場不可となる場合がある。

※ 以下の事項の該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。

- ・ 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
- ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
- ・ 過去 1 4 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航または該当在住者との濃厚接触がある場合

② 運動時以外（招集中・移動中・待機中を含む）のマスクの着用（熱中症に注意）、競技終了後の手洗い・洗顔を徹底する。

③ 3密を回避し行動する。

④ ウォーミングアップは個別に行う。

⑤ 競技用具使用後は、手洗い・手先の消毒をする。

⑥ 更衣室は使用できません。

⑦ 運動中につばや痰を吐くことは極力行わない。

⑧ 体液の付着したゴミは自己責任で処理する。（各自持ち帰り）

⑨ 滑り止め（炭酸マグネシウム）は各自準備する。

⑩ 競技会終了後、2 週間は健康チェックをし、発熱などの症状があった場合には、最寄の保健所、かかりつけ医、帰国者、接触者センターと等に報告・相談後、必ず大会主催者に報告すること。

### (2) チーム関係者（感染拡大状況により変更あり）

① マスク着用（熱中症に注意）、手洗い・洗顔を徹底する。

② 3密回避行動を心がける。

③ 声を出しての応援、集団での応援を行わない。

④ 競技者に付き添う場合の競技者とのソーシャルディスタンスを確保し、接触、会話に注意する。

⑤ 混雑を回避するため、競技者に付き添う者のウォーミングアップ場への立ち入りを最小限にすること。

⑥ コーチがコーチングエリアから競技者に向かって話す際は、マスク着用の上、ソーシャルディスタンスを確保すること。

⑦ 競技会終了後、2 週間は健康チェックをし、発熱などの症状があった場合には、最寄の保健所、かかりつけ医、帰国者・接触者センター等に報告・相談後、必ず大会主催者に報告すること。